



[男女共同参画社会の実現をめざす情報誌]

OKAYAMA

2008.1

vol. 33

さんかく社会のバイオニア vol.5

さんかくウィーク 2007

「さんかく岡山」へ行ってみよう♪

あなたは配偶者から
暴力を受けていませんか？

DUO

[デュオ]

特集

地域にさんかく 広がるわ



岡山市

地域にさんかく

みなさんの住んでいる地域には、「これは自慢できる」という活動が何かありますか。「秋祭りは町内会が協力して盛大に行っている」とか、「スポーツ少年団が活発で、地域を挙げて応援している」など、色々と思いつかれた方もいることでしょう。今号の特集では、特色ある地域活動に焦点をあて、住みやすい地域をめざし、男

倉富南町内会 防災会 街の安全 みんなで守る

岡山市の南東部に位置し、宅地化が進んでいる倉富南町内会（68世帯）。ここでは、町内会の中に防災会が組織されて、独自の防災マップや互助名簿を作成するなど、地域に根ざした活動が評判です。廣江倫雄会長ほか4名の方に、防災会について伺いました。

Q. 防災会の発足のきっかけは？

A. 町内会ができて10年経った頃から、「福祉を充実させたい」「お互い助け合っていくような町内会にしたい」「同じ町内会でありながら、町内の北と南でお互いの顔をよく知らないのはおかしい」といった声があがって

いました。町内会の高齢化が進んでいたこともあり、何かしなくてはという思いから、市に相談してみたところ、防災活動をしてみてはどうかということになり、町内会ができて13年目の2006年4月に防災会を発足させました。

Q. 防災会の活動をするにあたって、工夫したことはありますか？

A. 会員それぞれができることをしていこうということで始まったので、最初にアンケート調査をしました。アンケートでは、①町内に詳しい ②力仕事ができる ③炊き出しや料理ができる ④水道に関することができるなど20項目のうち、自分ができることを回答してもらいました。

その結果をもとに、会員を「消火班」「避難誘導班」「救出救護班」「情報班」「給食給水班」の5班に分けて、各自ができる活動に無理なく参加できるように工夫しました。仕事を持って忙しい人も、できる範囲で参加しています。



防災会の皆さん



Q. 防災会の活動に関わって、良かったことはありますか？

A1. 炊き出し訓練としての餅つきで、ついたお餅に手作りの絵手紙を添えて全戸配布した時に、町内の人たちから喜ばれたことがとてもうれしかったです。

A2. 情報班の活動で町内をまわる時に、長く住んでいるのに意外と地域のことを知らない夫に協力し、私が知っていることを話ながら一緒に歩いたことで、家でも地域のことについて夫と話をする機会が増えたことです。

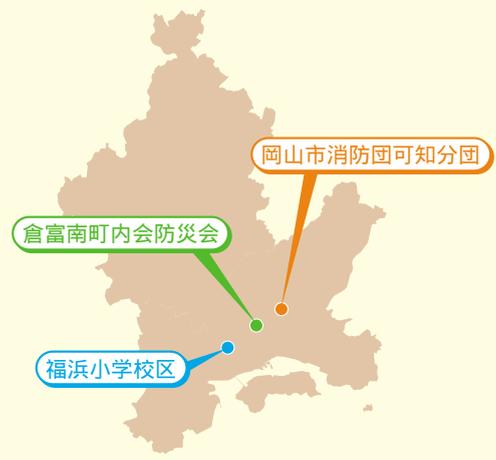
Q. 防災会の活動により、どんな点がよくなりましたか？

A. 避難訓練や餅つきをしたことで、町内の人同士が顔見知りになり、コミュニケーションがとれるようになってきたことです。お互いに助け合うという気持ちも町内に広がってきたし、信頼関係もできてきました。特に防災会で作成した互助名簿には緊急連絡先や要支援の内容等の情報も載せているので、ひとり暮らしの高齢者にとっては心強く、安心して暮らせるようになったのではないのでしょうか。



防災会の活動により、暮らしやすい環境づくりに取り組んでいる倉富南町内会。「性別にとらわれず、各人ができることを、お互いに助け合いながらやっていきたい」そんな考え方に支えられた活動が、住みよいまちづくりの原動力になっていると感じました。

広がるわ



い。
野球やバスケットボールが強く、

男女が協力して活動をしている3つの地域取材しました。

岡山市消防団 可知分団

幅広い消防団活動を めざして

地域に密着した防災活動を行っている岡山市消防団。その消防団に初の女性団員が誕生したのは、2004年1月のことです。それから4年、女性団員4人が活動している可知分団(西大寺地区)を訪ねました。

消防団といえば、火災の時の消火活動や台風・地震時の人命救助活動がすぐに頭に浮かびますが、可知分団の主な活動は、それらに加えて、消防操法訓練、防災訓練、歳末夜間警備、西大寺会場の警備などです。

そんな可知分団に女性団員が加わって、新たに始まったのが防火パレードへの参加と救命講習です。救命講習では、応急手当の仕方、心臓発作などで倒れて意識を失った人を救助するための医療機器(AED)を使った指導を女性団員が行っています。受講者から、「これで、自分のまわりに怪我をした人や倒れた人がいたら、手助けができそうです」とか「知っているのと知らないのでは大きな違い。講習会に参加して良かった」と言われたり、自分たちの活動に誇りが持て、とてもやりがいを感じると言います。



AEDを使った救命講習

また、地域の小学校や中学校、老人ホームや町内会などの様々な場所で活動しているので、何年かぶりに知り合いに会って、「こんな活動をしていたの。すごいねー」と言われたり、買い物をしている時に顔見知りになった地域の人たちに声をかけられたりすることがあるそうです。

このように今では女性団員が活躍していますが、規律と伝統を大切にしてきた消防団に女性が入団するということは想像もなかったことです。実際、男性団員は、女性団員にどう接すればいいのか、一緒に活動する上で、何をしてもらえばいいのか、とまどいや遠慮がありました。女

性団員にも遠慮があり、はじめの頃は、実際の火災現場でどう動いたらスムーズに消火活動ができるのかさえ分からず、あたふたすることもありました。また、規律訓練では、動きが悪くそろわないことで注意され、落ち込むこともしばしばあったそうです。

それでも、一人前の消防団員になるために男性団員に色々なことを聞きながら訓練に励んでいるうちに、いつの間にかお互いの遠慮が取り除かれていきました。消防団の活動のことだけでなく、時には、子どもの話や家庭の話で盛り上がる打ちとけた雰囲気 of 可知分団に変わっていったそうです。

岸本行雄分団長は、「受け入れる側の男性団員も、男も女も関係なく、地域の防災のために一緒に活動していこうという意識を持つようになった」と言われます。

可知分団では、団員それぞれができることを協力して行い、信頼関係も生まれ、お互いを認め合えるようになっていきます。

これからの活動について聞くと、「AEDの救命講習などの指導を中心に、可知分団の一員として、男性団員と協力しながら地域で役立つ活動を幅広くしていきたい」と女性団員全員が意気込みを語ってくださいました。

※岡山市消防団は100分団で、消防団員は、約4,800人。
そのうち女性団員36人が16の分団に所属しています。



分団長と女性団員

福浜 小学校区

紙芝居 「人見絹枝物語」 制作

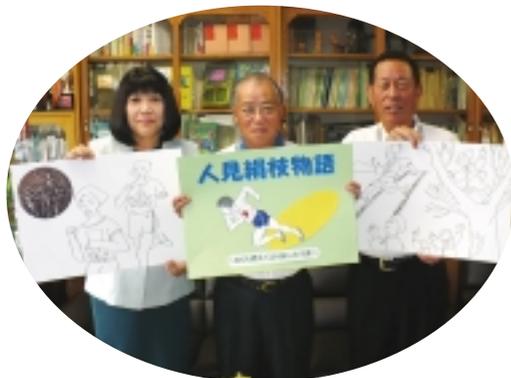
アムステルダムオリンピック800m走の銀メダリスト人見絹枝、その母校がある福浜小学校区で紙芝居の制作が始まったのは、2007年1月のこと。

人見絹枝の生誕100周年に当たるこの年に、角田みどり校長が「彼女の人生を通して、子どもたちの心に伝わるものを何か残したい」という強い思いを抱いたのが、出発点となっています。

福浜小学校ではこれまでも、彼女に学び「チャレンジ精神や不屈の精神を育てたい」という方針から、「人見絹枝杯」800m走大会を毎年行っています。こうした取り組みもあって、人見絹枝の名前は子どもたちにも知られていますが、その人生や精神をもっと伝えるにはと考えたときに出てきたのが、紙芝居制作です。

「学校だけで作るのではなく、地域の方たちと協力して、よりよいものを作りたい」そんな角田校長の思いから地域団体代表者らに声をかけたところ、多くの賛同が得られ、立ち上がったのが『人見絹枝紙芝居制作実行委員会(男性10人、女性7人)』。

会議が開かれている校長室を訪ねてみると、「今の子どもたちにも分かるように、当時の時代背景を入れてはどうか」とか「この場面の挿し絵には木登りをしている様子を描いた方がいいのでは」など、なごやかな雰囲気の中、活発に意見交換されていました。



もうすぐ完成の紙芝居

ここで、3人の実行委員の方々の紙芝居制作への思いを聞いてみました。

■実行委員長 松井猪八郎さん

人見絹枝選手を通して地域の歴史、優れた人物の再確認ができて、横のつながりやコミュニケーションがより深まったように思います。

紙芝居の制作はもとより、制作する過程で、地域住民との関係がより密接になったことにも大きな意義があると思います。

■福浜小学校長 角田みどり先生

女性が肌をみせるのは禁物の風潮の中で、スポーツに挑戦した人見絹枝選手の勇気とやさしい人柄や人生にふれ、彼女との心の交流ができるなど、子どもたちの心にしみいるものができることを願いながら制作しました。

■福浜学区連合婦人会長 佐藤栄子さん

人見絹枝生誕100周年のこの年にすばらしい紙芝居制作に携われたことを大変うれしく思います。

嫁いできてから、ずっと長くこの福浜学区に暮らしていますので、地域の方々や子どもたちのためにお役に立てればと思い、紙芝居制作の実行委員になりました。

こうして11月に紙芝居「人見絹枝物語」は完成し、福浜小学校の6年生約170人を前に初上演されました。子どもたちは、真剣な眼差しで紙芝居を鑑賞し、「一度も走ったことのない800m走で銀メダルを取るなんてすごい」とか「人見絹枝選手のように何にでもチャレンジして、みんなに尊敬される大人になりたい」など目を輝かせて語ってくれました。

また、この紙芝居は市内の小学校、公民館にも配付されているので、みなさんにも是非ともご覧いただきたいとのことでした。

もしかしたら、この紙芝居を見た子どもたちの中から、未来のオリンピックメダリストが誕生するかもしれませんね。



人見絹枝プロフィール

1907年現岡山市福成に生まれる。現岡山市立福浜小学校を経て現岡山県立操山高等学校、現日本女子体育大学に進む。オリンピック、アムステルダム大会(1928年)に日本で初めての女子選手として参加。800メートル走で銀メダルを獲得。1931年肺炎により死去。享年24歳。



真剣に見ている子どもたち

岡山市消防局女性消防士



中田恵以子消防士長

現在、岡山市消防局には、16人の女性消防士がいます。そのうち二交替の24時間勤務をしているのは、7人です。

その中でも分隊長という責任のある立場にいる西大寺消防署上道出張所の中田恵以子さんにお話を伺いました。

消防士になったのは、「身体を動かす仕事がしたいという気持ちがあったのと、男性中心の職場で女性がどこまでできるかチャレンジしてみたかったから」と、昔を振り返ります。

ところが、1995年採用当時は、労働基準法で、消防士であっても女性は、重量物の搬送に制限があり、消火活動に必要な可搬ポンプを運べなかったり、出産に影響があるなどの理由から有毒ガス発生場所の立ち入りに制限があったり等の規制がありました。そのため現場の最前線には踏み込めない状況で、主に事務仕事をしていました。

その10年後、規制も緩和され、救急車やポンプ車を運転して現場に駆けつけたり、約20 kgの防火服と空気呼吸器を装着して30 kgほどの可搬ポンプを2人で運んだり、現場での消火活動ができるようになりました。

分隊長になった現在は、自分自身のことだけではなく、自分の指揮下の隊員にも目を配らなければならないので、責任の重さを感じているとのこと。

実際の火災現場では隊員の安全確保を図りながら、即座に状況を把握し、大きな声で指示を出すのが役目です。分隊長としての確かな行動をとるためには、「日頃から訓練をし、現場にも慣れ、経験を積んでいかなければならない」と言います。

こんな緊迫感のある現場で活動している中田さんも仕事を離れると妻であり、二人の子どもを持つお母さんでもあります。

「夫は、消防士である私に理解があり、家事や子育てを一緒にしてくれます。それに子どもたちが言う『お母さん、かっこいい。僕も大きくなったら消防士になる』という言葉は消防士としての私にとって、かなりの励みになります」と言って優しく笑われたのが印象的でした。

最後に、将来について聞くと「体力が続く限り現場で活動したい」と力強く語ってくれました。



ポンプ車の点検の様子

取材した団体の活動に共通しているのは、女性の役割とか男性の役割とかに分けるのではなく、一人ひとりの持っている力を生かして、各人ができる活動に取り組んでいることです。

倉富南町内会防災会では、アンケートをした上で、男女に関係なく自分のできる活動をできる範囲でしていくという形をとったことが、多くの人の参加や協力につながったのでしょう。

可知消防団は、女性の団員が加わることで救命講習など消防団全体としての活動の幅が広がり、その活動を通して地域の人とのつながりも強くなっているのではないのでしょうか。

福浜小学校区の活動では、各実行委員の意見や知恵が色々な所にちりばめられた紙芝居が完成しました。地域と学校が協力し合って、子どもたちに、住んでいる地域のよさを伝えるだけでなく、人見絹枝選手を「地域の誇り」として他の地域にも発信していくなんてすばらしいことですね。

今回取り上げた地域に限らず、皆さんの地域でも、住みやすい地域をめざした様々な活動が行われていると思います。まずは地域で活動している団体やその活動内容に目を向けて、少しでも興味があれば、皆さんもちょっと参加してみたいはいかがでしょうか。住み慣れた地域でありながら今まで知らなかったことが発見できたり、近所の人との交流のわが広がったりすると思いますよ。

さんかくウィーク2007

さんかくウィーク中は、イベントが盛りだくさん。次回のさんかくウィーク2008もどうぞ期待!

プレウィーク 6月14日～6月20日
フォローウィーク 6月28日～7月4日

～おいでんせえ さんかくで奏でる元気なまち～

さんかくウィーク（岡山市男女共同参画推進週間）は、さんかく条例（岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例）の制定を記念して設けられました。「さんかくウィーク2007」では、『おいでんせえ さんかくで奏でる元気なまち』をテーマに、男女共同参画社会の実現に向け、市民のみなさんに男女共同参画社会への理解を深めていただくための様々な取組を行いました。企画の段階から市民のみなさんと行政で構成する実行委員会が中心になり、3週間にわたり表町のさんかく岡山や市内の全公民館などで多彩なイベントを開催しました。

6/24 記念セレモニー・記念イベント／市民文化ホール

記念セレモニーでは、副市長・市議会副議長から男女共同参画社会への熱いエールが送られました。その後、向井万起男さんによる「女房が宇宙を飛んだ」と題した講演会を行いました。向井さんのユーモアのある語り口調とお話は、会場に笑いを巻き起こし、参加者からは「面白かった」「また聞きたい」などの意見が数多く寄せられ、とても好評でした。



平成19年度男女共同参画社会の形成の促進に関する事業者表彰

受賞事業者は、株式会社栄光スポーツで、性別にかかわらず能力が発揮できる職場環境づくりに努め、女性社員を管理職に積極的に登用するなど、女性労働者の能力発揮を促進し、その活用を図る積極的取組を推進していることが高く評価されました。



ポスターデザイン最優秀賞表彰

さんかくウィーク2007広報用イラスト募集で、最優秀賞に輝いた沖田夢美子さんに賞状と副賞が授与されました。



さんかくウィーク2008の広報用イラストもこのたび募集します。みなさんも応募してみませんか。詳しくは「市民のひろば」2月号をご覧ください。

オープニングセレモニー・パレード&イベント



パレード隊が表町商店街からさんかく岡山まで行進して、さんかくウィーク2007のオープニングを飾りました。その後は、ちくわ笛教室やフラダンスショーなど子どもから大人まで楽しめるイベントを行いました。



さんかくウィーク2007実行委員会やさんかく岡山登録団体が企画した講演会

7/1



これが私の生きる道
～漫才師の体験から～

6/23



民話の車のおさんかく
～男衆も女子衆もみんな元気じゃった!～

6/23



シニアライフを快適に過ごすために
～健康補助食品(サプリメント)について～

6/17



変わるお葬式 消えるお墓 Part II
～お葬式とお墓はだれのため～

6/17



コミュニケーション上手になろう!!
～女も男も人生もっとハッピーに～

公民館行事

子どもから高齢者まで多くの市民のみなさんに参加していただくために、市内37全ての公民館で人形劇やコント、おじいちゃんやおとうさんとのクッキング、DV(ドメスティック・バイオレンス)や男女共同参画に関する講演会、映画鑑賞など、それぞれ違ったテーマで地域に密着した行事を開催しました。

「さんかく岡山」へ行ってみよう♪

「さんかく岡山」は、年齢や性別を問わずどなたでもお気軽にご利用いただける施設です。
お散歩がてら、ちょっと覗いてみませんか？ 何か新しい発見があるかもしれませんよ！

「さんかく岡山」は、
こんな施設

- 開館時間 平日 9:30~20:00
日曜・祝日 9:30~17:00
- 休館日 火曜日・年末年始



さんかく岡山では、 どんなことが学べますか？

●男女共同参画大学

「さんかくカレッジ」

女性も男性も、個性と能力を生かして自己実現ができるよう、幅広い分野を楽しく学びます。男女共同参画の入門編の「基礎コース」と、講座の講師などとして活動できる人材の育成を目的とした「専門コース」があります。

●シアターカフェ

毎月1回開催しています。色々な映画を鑑賞した後、お茶を飲みながら、映画についておしゃべりをしています。もしかしたら、気の合う人と出会えるかも！

※この他にも子育て・健康・憲法や法律など、さまざまな講座を行っています。

3月までの主な講座のご案内

- 2/24(日) 13:30~15:30 講演会「女性の人権宣言
~これって女のわがままですか~」
- 3/8(土) 10:00~12:00 「シングルのためのハッピー子育て法」
- 3/13(木) 13:30~15:00 講演会「月経と上手につき合おう」
- 3/15(土) 13:30~15:30 講演会「NGO活動と女性~国際的視点から~」
- 3/19(水) 午後には、乳ガンに関する講演会を予定しています。

※いずれも定員あり。要予約・無料。

毎月講座を行っています。詳しくは「市民のひろば」、ホームページをご覧ください。
お問い合わせはこちらまでお気軽にどうぞ。

岡山市男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」

〒700-0822 岡山市表町三丁目14番1-201(アークスクエア表町2階)
TEL 086-803-3355 FAX 086-803-3344
<http://www.city.okayama.okayama.jp/shimin/danjo/center/>
<E-mail>sankaku@city.okayama.okayama.jp



女性に対する暴力根絶の
ためのシンボルマーク

あなたは配偶者から 暴力を受けていませんか？

配偶者から、身体的暴力(足でける、平手で打つなど)、精神的暴力(大声でどなる、なぐるふりをしておどすなど)、性的暴力(避妊に協力しないなど)を受けて、あなたは悩んでいませんか？

改正配偶者暴力防止法が平成20年1月11日に施行されました。

今回の配偶者暴力防止法の改正では、保護命令制度が拡充(下表)するなど、被害者への支援がより充実したものになります。

改正の 主な内容

保護命令

- 接近禁止命令と退去命令の2つがあります。
- 配偶者(事実婚・元配偶者を含む)から身体的な暴力、又は、**生命・身体に対する脅迫**を受けた被害者は保護命令の申し立てができます。

接近禁止命令(6ヶ月)

被害者へのつきまといや被害者の住居、勤務先等の付近のはいかいを禁止。
※被害者への接近禁止命令と併せて次の事項も申し出ることができます。

- 被害者と同居する未成年の子どもへの接近禁止命令
- **電話・電子メール等の禁止命令**
 - ① 面会の要求
 - ② 行動の監視に関する事項を告げること等
 - ③ 著しく粗野・乱暴な言動
 - ④ 無言電話、連続しての電話・ファクシミリ・電子メール(緊急やむを得ない場合を除く。)等
- 被害者の親族等への接近禁止命令

退去命令(2ヶ月)

被害者と共に住む住居から退去を命じます。

※赤文字が改正により新たに加わった部分

※詳しい内容については、内閣府の「配偶者からの暴力被害者支援情報サイト<http://www.gender.go.jp/e-vaw/index.html>」をご覧ください。

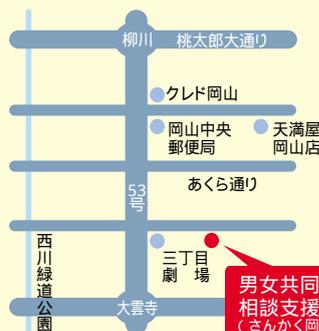
**配偶者や恋人からの暴力で悩んでいるあなた、まずは相談してみませんか。
また、配偶者等からの暴力で悩んでいる人がいたら、
男女共同参画相談支援センターのことを知らせてあげてください。**

岡山市男女共同参画相談支援センター (配偶者暴力相談支援センター)

相談受付時間 平日 10時～19時30分
(火曜日・年末年始12月29日～1月3日を除く)
日・祝 10時～16時30分

相談ホットライン ☎086-803-3366

〒700-0822 岡山市表町三丁目14番1-201号 アークスクエア表町2階
男女共同参画社会推進センター「さんかく岡山」内
<http://www.city.okayama.okayama.jp/shimin/danjo/center/>
(E-mail) sankaku_shien@city.okayama.okayama.jp



男女共同参画
相談支援センター
(さんかく岡山市内)

編集委員

を終えて

年齢や生活環境の違う人間が男女共同参画の情報誌の作成のために集まり、取材や編集をする中で、多くの考えを聞き、学ぶことができました。この経験で得たものを少しでも社会に伝えていけたらと思います。(大矢野綾子)

2年間編集委員をする中で、いろいろな人の話を聞くことができ、大変勉強になりました。これから子育てをしていく上でも男女共同参画の視点を持っていきたいと思っています。(久常容子)

男女共同参画の意味もよく解らないまま編集に参加させていただきました。あっという間の2年間でした。これを機会に私の出来る範囲で男女共同参画に関わっていけたらと思います。(星出博子)

政令市となる岡山市には、男女共同参画社会の牽引車になって欲しい。そう強く思います。基本法が施行されて9年。まだまだ道遠しの感深しです。前進させる新たなエネルギーが必要ではないでしょうか。(山本 駿)

DUO vol.33

編集後記

今回の特集で取材した地域の方々、私の親世代の方が多かったのですが、どの方もパワフルで生き生きとされていたのが印象的でした。地域のために何かをしようとか何かを作ろうという意欲がパワーの源になっているように感じました。やっぱり、何をするにしても前向きな姿勢って大切ですよね。いろんなことをはねのけられそうな気がします。取材して、みなさんから元気をいただいたので、今よりも少しパワーアップした自分になれそうです。

この情報誌は、市民公募の編集委員が企画・編集を行いました。